

平成28年度

学校関係者評価報告書

平成29年7月



学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

(1) 開催日時 平成 29 年 7 月 11 日 (火) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 00 分

(2) 開催場所 日本航空専門学校 2 階大会議室

(3) 出席者

学校関係者評価委員

中満 悦郎 氏 (公益社団法人 日本航空技術協会 常務理事 事務局長)
荻谷 英博 氏 (ANA 新千歳空港株式会社 グラントサービス部 部長)
志萱 和孝 氏 (株式会社 JAL グラントサービス札幌 ランプサービス部 ランプサービス 4 課 課長)
奥西 武志 氏 (全日本空輸株式会社 整備センター業務推進部 担当部長)
谷村 隆士 氏 (株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 武蔵総務部 主幹)
福田 和磨 氏 (株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 組織・人財グループ長)
飯田 恭久 氏 (ANA 新千歳空港株式会社 旅客サービス部長)
富樫 聰子 氏 (株式会社 JAL スカイ札幌 総務部 マネジャー)
山崎 栄二 氏 (一般社団法人 白老観光協会 事務局長)
内村 喜郎 氏 (千歳市青少年育成市民会議 顧問)

事務局

梅沢 忠弘 (学長)
秋山 博 (副学長)
水口 剛 (学長補佐)
八反田 武 (教務課 課長)
佐藤 幹雄 (学生課 課長)
岩畦 浩司 (航空整備科 学科長)
山口 文櫻 (空港技術科 学科長)
小林 伸枝 (国際航空ビジネス科 学科長)
佐々木 智 (事務長)

(4) 評価対象期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

(5) 実施方法

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様にご覧いただき、「平成 28 年度自己評価結果」について説明し、自己評価についての評価、意見を頂きました。

(6) 情報公開

学校関係者評価報告書として取りまとめ、日本航空専門学校ホームページで公開いたします。

自己評価に対する評価

評価は、4～1の点数で記載します。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■ 1 教育理念・目標 評価 4

意見、提案など

- ・ドローンコースの設定など時勢に先取られていてよいと思う。

■ 2 学校運営 評価 4

意見、提案など

- ・特になし

■ 3 教育活動 評価 4

意見、提案など

- ・「授業評価の実施・評価体制はあるか」の評価が3なのは、研究授業の回数が昨年度より少なかったということか。
(回答) 予定していた回数をこなすことができませんでした。
- ・教育活動への理想と現実とのミスマッチを埋めるための活動を迅速に進めることが学校にも企業にも求められているので、少しでも通常と異なる領域がある場合、時間を待たずに対応してもらいたい。

- ・航空機の進化を踏まえ従来の「整備士」ではなく「整備士+エンジニアリング」ができる人材教育が可能なカリキュラムの設定などの必要性を感じている。
- ・壊れない航空機における整備士の在り方（生き様）についてどのように考えていくか、企業においても熟考する必要があると思う。

■ 4 学修成果

評価 4

意見、提案など

- ・退学率はどれくらいか。
(回答) 27年度の退学率は2.5%でしたが、28年度は1.8%であり、0.7%低減することができました。
- ・資格の取得率向上とはそれぞれの資格ということか。
(回答) 二等航空整備士など、それぞれの資格についての取得率です。
- ・現状の問題点とはどのようなものがあるのか。
(回答) 問題点というより改善点として、教務課では課内の情報共有が不十分ととらえミーティングを増やすように致しました。
航空整備科では定期試験等、学内の試験結果は良いのに技能審査の試験では不合格となるケースがあり、対策としてシラバスを見直し、定期的にレベルチェックを行うことにより到達度が把握できるように進めています。
- ・問題点と改善策の説明という形での説明はわかりやすく次回以降の学校関係者評価委員会で資料作成の参考にしていただきたい。
- ・就職先すべての企業にOB・OG会はあるのか。
(回答) 全国に拡大を計画しておりますが、今のところ新千歳空港の企業のみです。
- ・卒業生によるケアについては就職ミスマッチによる退職等を防止する観点から大変有効であると思う。
- ・昨年内定したものの、二等航空整備士取得に失敗して入社されるケースが他校などで散見されているので、資格取得率の向上についてさらに尽力いただきたい。

- ・資格取得率の推移等のデータ開示があれば議論が深まるのではないかと。
- ・そらゼミを各学校で展開するなど、間口拡大に尽力している。

■ 5 学生支援

評価 4

意見、提案など

- ・学修成果に書かれている外部の専門カウンセラーと学生支援に書かれている専門スクールカウンセラーは別々か。
(回答) 同じ外部の専門カウンセラーです。
- ・メンタルヘルスは重要な取り組みだと思う。先生やカウンセラーとの連携を強化して、しっかり対応してもらいたい。
- ・生徒の変化を把握するのは時として難しいケースもあり企業でも大変苦労しているので個人へのフォローを願いたい。

■ 6 教育環境

評価 4

意見、提案など

- ・電子黒板を導入してどのような効果があるか。
(回答) 画像や動画などを効果的に使用することにより、学生からも分かりやすく理解できるとい声聞かれます。

■ 7 学生の受け入れ募集

評価 4

意見、提案など

- ・入学者数の推移はどうか。
(回答) 国際航空ビジネス科は早期に定員に達した為、第5期までの入試予定を3期で締め切り、航空整備科も第4期で締め切りました。
空港技術科は定員を若干割りましたが、学年の総数としては定員を満たしております。

■ 8 財務

評価 4

意見、提案など

- ・特になし

■ 9 法令等の遵守

評価 3.9

意見、提案など

- ・学生の個人情報についてはどのように対応しているか。
(回答) 入学時に個人情報同意書に同意して頂き、その範囲のみで使用しており、範囲外では使用しておりません。
- ・法令順守の内容は学校としては理解するところであるが、「今後企業に就職する学生に対して」にも視点をあてて評価してみてもどうか。
- ・今年度改正された個人情報保護法について教職員に改正項目の周知が実施されているか。
- ・私生活における振る舞い方、人としての思考そのものが機材品質を作り込んでいるものであるので、単に法令等を教えるだけでなく、その先に「品質」や「お客様」を意識できるような考え方も必要であると思う。

■ 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

意見、提案など

- ・町内会や市内のボランティアに日曜日でも参加しており、小さな子供に対しての接し方や、まじめな取り組み方は大変感謝している。参加している学生諸君に伝えていただきたい。
- ・ボランティア活動について、イベント協力など夏季に集中するが、早めに問い合わせをしてもらえると情報が出しやすい。

意見、提案など

- ・特になし

***全体を通しての意見、提案**

- ・次回の評価委員会の時には、個別の項目ごとに報告をする前に、1年間の全体的な報告をすれば一層理解が深まるのではないか。
- ・自己評価報告書が全体的に上手くまとまっているので、苦勞してこのようなレベルまで向上してきたプロセスが分かるようにすると更に良い報告に繋がると思う。